資料１

令和８年度　関西観光戦略実行推進会議

「第５次観光立国推進基本計画」「関西あったかプロジェクト」について

国土交通省 近畿運輸局長

長﨑　敏志

令和８年９月２６日

観光立国推進基本計画（第５次）（概要）

課題・方向性

- 観光は、**訪日外国人旅行消費額は9.5兆円**（2025年速報）、そしてその**経済波及効果は約19兆円**に及ぶなど、**地域経済や日本経済の発展をリードする戦略産業**※である。また、**国際相互理解の促進**など、**多面的に重要な意義**を有する。
  ※訪日外国人旅行消費額15兆円を達成した場合、**経済波及効果**は**約30兆円規模**と、幅広い産業に裨益することが見込まれる。
- 他方、観光を巡り顕在化している課題として、**混雑・マナー違反等の個別課題への対応**、**特定の都市・地域への集中是正**など、**オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた対策の強化が不可欠**。加えて、深刻な**人材不足への対応**、観光の**高付加価値化**、**国内交流の拡大**、災害や国際情勢等の**様々なリスクに対する強靱性の確保**などの課題への対応が不可欠。
- そのため、**「観光の持続的な発展」**、**「消費額拡大」**、**「地方誘客促進」**、**「観光と交通・まちづくりとの連携強化」**、**「新技術の活用・本格展開」**を施策の方向性として位置づけ、**地域住民と観光客双方の満足度を向上**させ、**交流人口・関係人口を拡大**するとともに、「住んでよし」「訪れてよし」に加え、**「働いてよし」の観光産業の実現**を推進するための施策を強力に推進。

計画期間：
令和８～12年度
（2026～2030年度）

施策の柱

インバウンドの戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立

- 局所的・地域的に生じている**混雑・マナー違反等の個別課題への対応**（民泊関係含む）
- **地方誘客**を進めるための広域的な体制の整備
- 地方誘客及び消費拡大に効果の高い**観光コンテンツの充実**
- **地方部への交通ネットワークの機能強化**

国内交流・アウトバウンド拡大

- 休暇の分散・**旅行需要の平準化**
- **関係人口の創出**や**二地域居住**の促進
- **国内・海外旅行の需要喚起**に向けた機運醸成
- **観光復興に向けた再生支援**

観光地・観光産業の強靱化

- 持続可能性を高めるための**インバウンド市場・観光コンテンツの多様化**
- 観光DX、省力化投資等による**生産性向上**
- 健全な競争環境の整備
- ユニバーサルツーリズムなど**多様なニーズへの対応**

目指すべき2030年の姿

戦略産業として、日本の魅力・活力を次世代にも持続的に継承・発展させていく観光

観光立国の実現に関する目標

目標	【2030年】	【2025年】	【2024年】
＜インバウンドの戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立＞			
1.観光客の戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立に取り組む地域数【新】	100地域	47地域	26地域
2.訪日外国人旅行者数	6,000万人	4,268万人	3,687万人
3.訪日外国人旅行者に占めるリピーター数【再設定】*2	4,000万人	2,761万人	2,422万人
4.訪日外国人旅行消費額	15兆円	9.5兆円	8.1兆円
5.訪日外国人旅行消費額単価	25万円	22.9万円	22.7万円
6.訪日外国人旅行者の地方部*3における延べ宿泊者数【再設定】*2	1.3億人泊	5,873万人泊	5,086万人泊
7.国際会議の開催件数	アジア最上位、世界５位以内	-	アジア最大開催国、世界７位
＜国内交流・アウトバウンドの拡大＞			
8.国内旅行消費額	30兆円	26.8兆円	25.2兆円
9.日本人の地方部*3延べ宿泊者数	3.2億人泊	3.0億人泊	3.1億人泊
10.日本人の海外旅行者数	過去最高値(2,008万人)超え	1,473万人	1,301万人
＜観光地・観光産業の強靭化＞			
11.宿泊業が創出した付加価値額【新】*4	6.8兆円	-	4.3兆円

＊1:「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成28年３月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議にて決定）
＊2:第3次計画（平成29年３月28日閣議決定）以来の再設定
＊3:基本計画及び観光ビジョンの目標の「地方部」は三大都市圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県）以外の地域をいう。
＊4:付加価値額＝営業純益(営業利益※5－支払利息等)＋人件費（役員給与・役員賞与・従業員給与・従業員賞与・福利厚生費）＋支払利息等＋動産・不動産賃借料＋租税公課
※5 営業利益 ＝ 売上高 － 売上原価 － 販売費及び一般管理費

「関西あったかプロジェクト」(計画期間：２０２６年度～３０年度)

国土交通省近畿運輸局

2026.3.26_＜概要版＞

関西観光本部 The Origin of Japan, KANSAI

取組方針【本文】

関西観光の現状と課題

- 大阪・京都を中心とした一部地域への偏在傾向と観光客の集中による地域住民の生活への影響への対応
- 観光二次交通の確保と情報発信のさらなる充実
- 人口減少・高齢化による観光地域づくりの担い手不足への対応
- 観光庁等の統計データを活用したマーケティングと観光地域づくりへの支援
- 万博レガシーの発展と関西への観光の機運継続、観光をめぐる関西の動き（～2030年度）も踏まえた広域観光の推進

＜目指す姿＞

① 世界が注目するデスティネーション“ＫＡＮＳＡＩ”

- 大阪・関西万博が大きな成功を収め、国内外に、関西のブランド力・観光資源の魅力（歴史、伝統文化・風習、自然、美食、エンターテイメント）を発信することができた。
- 大阪ＩＲが開業される２０３０年を見据え、万博を契機とした関西への観光機運を継続しつつ、行政をはじめ、多様なステークホルダーとの連携・協働の下、「広域連携観光戦略」に基づく取組を推進し、国内のみならず、世界が注目する“安心で何度も訪れたくなるデスティネーションＫＡＮＳＡＩ”を目指す。

② さらなるインバウンド需要に対応した「観光客の受入れと住民生活の質の確保との両立」

- 関西の一部の観光地では、過度の混雑や一部の外国人旅行者によるマナー違反行為によって、地域住民への影響や、観光客の満足度の低下への懸念が生じているが、これらの課題に対して、地域の実情に応じた「オーバーツーリズムの未然防止対策」が適切に講じられ、観光が地域住民の生活に裨益していく姿を実感できるよう、「観光客の受入れと地域住民の生活の質の確保との両立」を目指す。

③ 地方誘客を通じた「交流人口・関係人口の拡大」と「観光人材の活躍」

- 観光を取り巻く環境が変化（人口の減少・生産年齢人口の減少、気候変動・旅行ニーズの変化等）するなか、地方部の観光地が、旅行者の趣味嗜好を満足させるためには、観光資源の価値の維持・向上を担う「観光人材が活躍」・「定着」することが重要である。
- 個性ある魅力的な観光スポットの形成・維持が図られ、地方誘客が一層促進されるよう、観光を通じた「交流人口・関係人口の拡大」と「観光人材が安心して就労・活躍」できる観光地域づくりを目指す。

キーコンセプト

『つながって、触れて、もっと好きになる「あったかＫＡＮＳＡＩ」』

「観光客と受入側（地域・住民、地域・観光産業）」・「関西と他圏域・諸外国」・「（若者をはじめとした）人と人」がつながり、お互いが地域の魅力を知り、相互理解が深まれば、「目指す姿」を実現できるのではないか。その想いをキーコンセプトに込めた。

重点目標	【２０３０年】		【２０２４年実績値】
１．観光客の受入れと住民生活の質の確保との両立に取り組む地域数	２０地域	約3.3倍	６地域（2025年含む）
２．訪日外国人旅行者の地方部における延べ宿泊者数	９００万人泊	約2.8倍	３２７万人泊
３．日本人の地方部延べ宿泊者数	２，８００万人泊	約1.1倍	２，５９１万人泊

★★★ 観光に関する国・地方公共団体、広域DMOの施策・取組とも連携しつつ、総合的かつ計画的に「新たな取組方針」を推進 ★★★

「関西あったかプロジェクト」(計画期間：２０２６年度～３０年度)

国土交通省近畿運輸局

2026.3.26_＜概要版＞

関西観光本部 The Origin of Japan, KANSAI

大阪・関西万博後の持続的な観光に向けた基本戦略（取組の柱）

① 広域周遊・宿泊滞在の促進 ／ ② オーバーツーリズム対策（受入環境） ／ ③ 観光二次交通の確保 ／ ④ 人材の活躍、地域情報・統計データの活用

戦略を進めるためのプロジェクト（方向性・施策）　『関西あったかプロジェクト』

地域に潜む魅力を掘り起こそう！（関西ブランドの確立に向けたコンテンツの充実）

① 観光地域づくり法人（ＤＭＯ）との連携・支援強化
- 関西観光本部が策定・広域連携ＤＭＯとして司令塔の役割を担う「広域連携観光戦略」に基づく取組の推進
- 「登録制度ガイドライン」を踏まえた地域ＤＭＯの体制強化・機能強化の推進

② 持続的な観光まちづくりの形成
- 観光まちづくりコンサルティング事業を通じた地域資源の掘り起こしと地域・経済の活性化

③ 広域周遊の促進
- ターゲットを絞った地方誘客の促進や、海上クルーズ等を活用した旅行振興の促進
- 他圏域（西のゴールデンルート等）との連携

④ 他分野との連携強化
- 施策の相乗効果を図るための関係省庁との勉強会・セミナーの実施

⑤ 観光客の満足度向上
- 観光ガイドの育成、観光資源の多言語化

心温まるおもてなしの場を広げよう！（関西周遊の促進に向けた受入環境整備）

① オーバーツーリズムの未然防止・抑制
- 観光庁予算（補助事業）を活用した、「観光需要の分散等による観光客の受入れと地域住民の生活の質の確保との両立」への支援
- 手ぶら観光の推進・認知度の向上
- 京都駅一極集中の緩和に向けた取組の支援

② 観光二次交通の確保・充実
- 自動運転技術の活用等、二次交通への支援

③ 観光産業の人材不足対策等
- 観光産業従事者が働き続けられる環境づくり（宿泊施設等へのＤＸ導入等）への支援

④ インバウンド旅行者が安心できる情報環境づくりの促進
- インバウンド旅行者に対する緊急時の情報提供の促進や観光施設・医療機関内の多言語化対応に向けた環境整備への支援

⑤ ユニバーサルツーリズムの推進等
- ユニバーサルツーリズムの推進、観光施設における心のバリアフリー認定制度の普及促進

ホットな情報をどんどん届けよう！（観光関係者と連携した効果的な情報発信）

① 効果的な訪日プロモーションの実施
- “ＫＡＮＳＡＩ”の認知度向上に向けた情報発信の強化
- 関西で行われる大型のスポーツ・周年イベント等を活用した地方誘客の機運醸成　等

② デジタル技術を活用した移動サービスの提供の促進
- KANSAI　MaaS等を活用した旅行者の移動・周遊の利便性向上

③ 観光庁等の統計データの活用
- 観光戦略等を検討している地域におけるデータの活用の促進

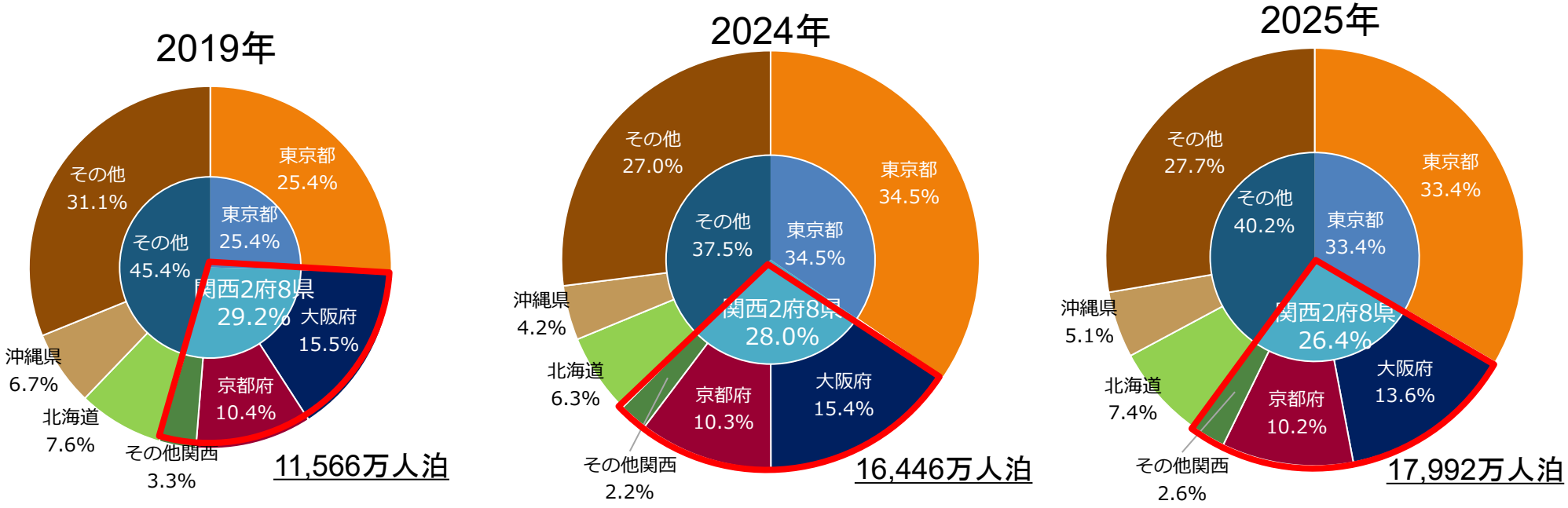
④ 観光シンポジウム・観光セミナー等の実施
- 観光シンポジウムや、初任の観光従事者等を対象とした観光セミナーの企画・運営
- 商品タリフ（コンテンツシート）の作成に向けた研修会の企画・運営

⑤ 観光関係者の取組の情報発信（note）

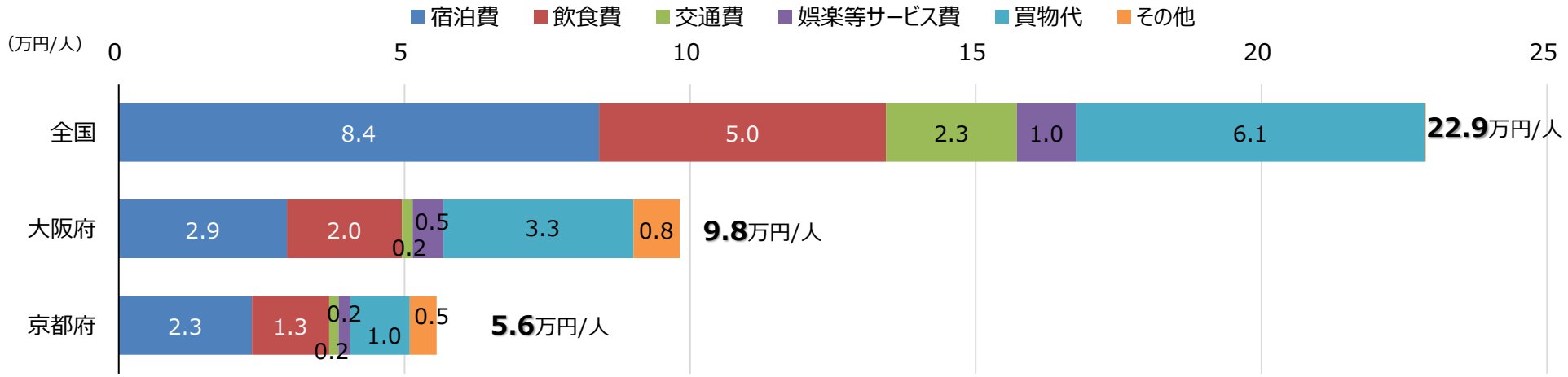
近畿運輸局の主要取組	２０２６	２０２７	２０２８	２０２９	２０３０
ＤＭＯとの連携・支援強化	広域連携観光戦略に基づく取組の推進（毎年度）、登録ＤＭＯによる取組の把握・助言				
オーバーツーリズム対策	観光庁予算（補助事業）の活用への提案、優良事例の情報共有（毎年度）				
持続的な観光まちづくりの形成	観光まちづくりコンサルティング（毎年度）、観光シンポジウム・セミナーの企画立案・運営				

関西における今後の取組に向けて

各都道府県別外国人延べ宿泊者数割合



インバウンド旅行消費単価



出典：延べ宿泊者数･･･観光庁「宿泊旅行統計調査」(関西2府8県とは、福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県を指す。)
消費単価･･･観光庁「インバウンド消費動向調査」【参考表】都道府県別集計※都道府県別の「消費単価:その他」には団体・パックツアー料金に含まれる訪問地収入分が含まれる。都道府県別の「消費単価:交通費」には都道府県間交通費は含まれない

広域で連携した観光戦略に基づく取組の推進・強化

事業目的・背景・課題

○四季があり、南北に長い日本においては、**ブロックごとに繁閑の時期が異なっている**が、現状、各ブロックごとに明確な戦略がなく、**インバウンドの誘客等に活用しきれていない。**

○一方で、引き続き**三大都市圏の特定エリアへの観光客の偏在・集中**は解決されておらず、**オーバーツーリズムの発生**や**地方にインバウンドの果実が落ちない**などの**問題が発生**している。

○また、**コンテンツ造成等の支援が細切れ**であり、**広域的な誘客の取組に十分活用されていない。**

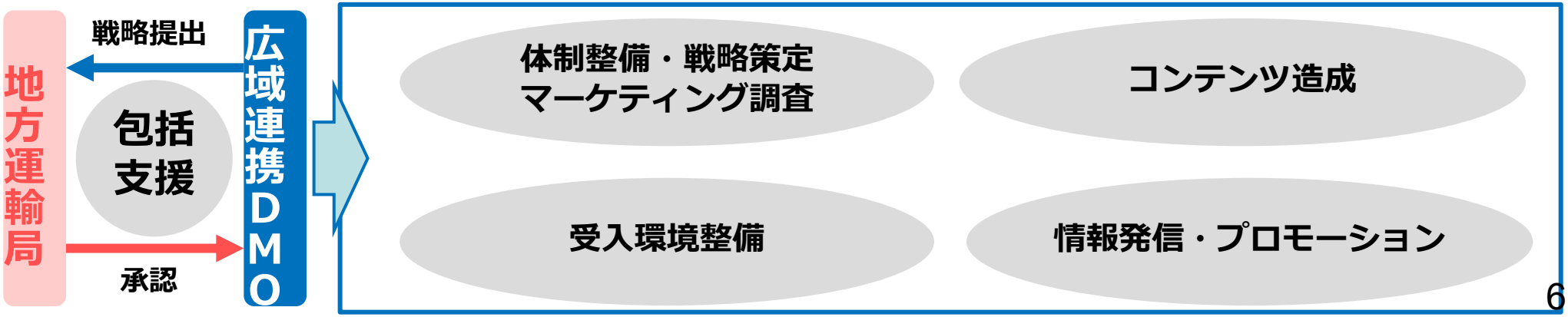
こうした状況を改善し、観光の持続可能性を高め、2030年6,000万人の目標を達成していくために重要なポイント

1. **データ収集・分析**とこれに基づく**マーケティング調査**の実施
2. **繁閑も踏まえた広域での観光戦略**の策定
3. **①と②を踏まえたコンテンツの造成や受入環境整備の実施**

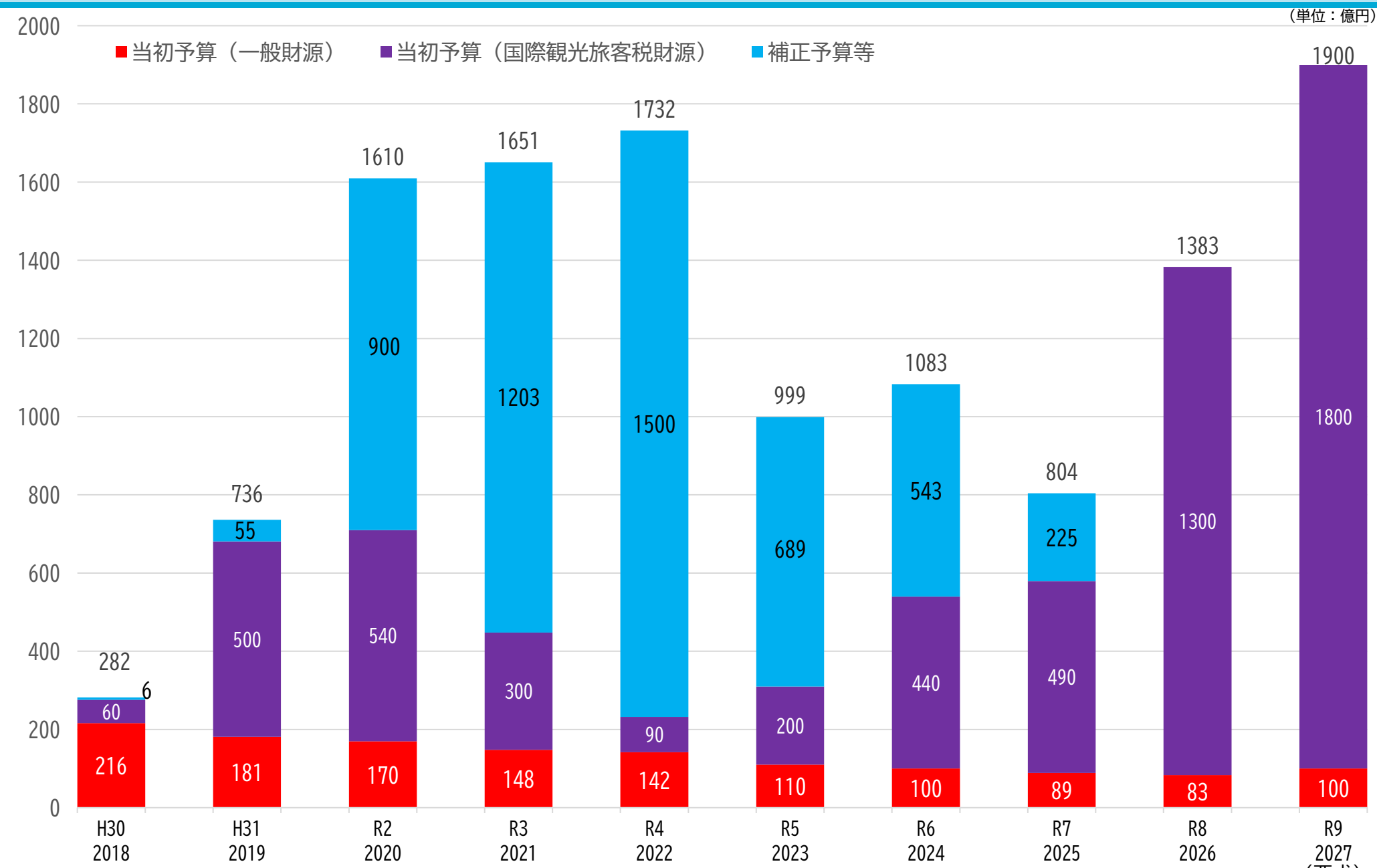
全国に10ある広域連携ＤＭＯが“司令塔”となり、一貫した戦略の下で、関係者とも連携し、地域の実情に応じた柔軟かつ弾力的な事業を推進できる枠組みを構築

ＤＭＯによる広域連携の取組を観光庁の様々な予算事業を用いて幅広に支援

以下の取組を一体的に進めるため、来年度も必要な予算を確保



観光庁関係予算


（単位：億円）
当初予算（一般財源）
当初予算（国際観光旅客税財源）
補正予算等
2000
1800
1600
1400
1200
1000
800
600
400
200
0
282
6
60
216
736
55
500
181
1610
900
540
170
1651
1203
300
148
1732
1500
90
142
999
689
200
110
1083
543
440
100
804
225
490
89
1383
1300
83
1900
1800
100
H30 2018
H31 2019
R2 2020
R3 2021
R4 2022
R5 2023
R6 2024
R7 2025
R8 2026
R9 2027 (要求)